

高大連携

札幌丘珠高等学校との 高大連携授業

2017年11月1日(水)、北海道札幌丘珠高等学校1年生22名を対象とした高大連携授業を実施しました。リハビリテーション科学部作業療法学科の鎌田樹寛教授による模擬授業や演習を受講し、認知機能維持を目的とした間違いさかしによる時間感覚の相違体験や、作業療法士の役割について学びました。また、大学見学中には卒業研究に取り組む大学生たちと交流しました。



看護職・リハビリ職 体験学習

2018年1月9日(火)、札幌旭丘・札幌大通・札幌新川・札幌平岸・札幌清田・札幌啓北商業・札幌藻岩高等学校1・2年生、札幌開成中等教育学校4・5年生の100名を対象とした看護職・リハビリ職体験学習を実施しました。本事業は2012年度に締結した各校との高大連携に関する包括協定に基づく実施事業で、今回で6回目の開催です。

看護職(看護師)希望者は、看護・看護師とは何かを学び、衛生的な手洗い、バイタルサインの測定、聴診、シミュレーターデモンストレーションを小グループに分かれて体験しました。リハビリ職(理学療法士)希望者は、筋収縮のメカニズムを学び、体を動かしながら筋電図と力の大きさの相関を体験しました。リハビリ職(作業療法士)希望者は、講師とのコミュニケーションの中で各々の作業への興味・関心をチェックし、革細工によるペンケースづくりを体験しました。今回の体験学習が将来の進路選択・決定の助力となれば幸いです。



プレ先端科学特論(4年生)、先端科学特論(5年生)を開講

2018年1月10日(水)、11日(木)の2日間、札幌開成中等教育学校4年生54名と、5年生11名(11日のみ)を対象としたプレ先端科学特論、先端科学特論を開講しました。

4年生は10日にかん予防研究所・藏満保宏教授の特別講演を受講。進行したがんの動態、腫瘍マーカーの役割、分子標的治療、二次元電気泳動法、質量分析法による蛋白質の同定などを学んだほか、他講師による口腔粘膜遺伝子解析を体験し、マイクロリットルの世界に触れました。

11日は岩手医科大学・徳富智明教授の講演・演習を受講。ゲノムや遺伝性疾患、遺伝学的検査を学んだうえで家系図の重要性と理解を深めるとともに、10日の学びを基にタマネギからDNAを採取、糸状のDNAを目で確認しました。また、三重中央医療センターの梅原言語聴覚士の対話型講演を受講し、木と石の階段の比較を例に、遺伝要因と環境要因(経路)についても学びました。

5年生は健康科学研究所・高井理衣助教の講演を受講。遺伝子とゲノム構造、親から子への遺伝子の受け継がれ方、遺伝子の違いや解析を学んだほか、4年生と同じく梅原言語聴覚士の対話型講演を受講。他にも昨年度のプレ先端科学特論で遺伝子の違い(耳垢の乾型・

湿型)を学んだ体験から、現在医療業界で注目されているコピー数多型に着目し、米の消化酵素(アミラーゼ)遺伝子の解析に触れるとともに、口腔粘膜遺伝子解析を体験しました。

参加された生徒の皆さんは、知識と関心を深める有意義な時間を過ごされたようでした。



徳富教授、梅原言語聴覚士、太田教授による口腔粘膜遺伝子解析を体験、マイクロリットルの世界に触れました。



徳富教授による講演・演習を受講し、ゲノムや遺伝性疾患、遺伝学的検査について学んだうえで家系図の重要性について触れ、自動家系図作成ソフト「f-tree」を使って理解を深めました。

国際交流

医療従事者職能向上研修機関 (ロシア・ハバロフスク)と交流協定を締結

2017年11月20日(月)、医療従事者職能向上研修機関(ロシア連邦、ハバロフスク)と本学は、両機関の医療従事者の医療・学術分野での交流促進を目的とした交流協定を締結しました。ロシア連邦における協定は、サハリ州保健省(サハリン)、樺東国立総合医科大学(ハバロフスク)に続いて3件目となります。



スウェーデン王国レクサンド市訪問団が来学

2017年10月26日(木)から30日(月)までの5日間、スウェーデン王国レクサンド市と当別町の姉妹都市提携30周年を記念してレクサンド市民約60名が当別町で過ごしました。彼らは当該滞り期間中に来学し、大学の最新設備の見学や、YOSAKOIソーラン祭り部との演舞などにより大いに交流を深めました。また、学生13名が通訳ボランティアとしてウェルカムパーティーをはじめ記念式典などに参加しました。



当別町内視察



YOSAKOIソーラン祭り部の演舞鑑賞

日程	行事
26日(木)	当別町長訪問/ウェルカムパーティー
27日(金)	当別町内視察/来学/最新設備が整った実習室や中央講義棟を見学/YOSAKOIソーラン祭り部の演舞鑑賞、一緒に演舞も
28日(土)	記念式典/航空自衛隊音楽隊コンサート/ディスカッション/高齢者と若者の地域共生について当別町民とレクサンド市民が活発な意見交換 コーディネーター:坂野雄二地域連携推進センター長・安藤善裕国際交流推進センター長/札幌市内視察
29日(日)	スウェーデンヒルズ訪問/文化交流・スポーツ交流/フェアウェルパーティ
30日(月)	帰国

ニューヨーク州立大学バッファロー校 歯学部と学部間交流協定を締結

2017年12月20日(水)に、斎藤隆史歯学部長と中澤太歯学部教授がアメリカのSchool of Dental Medicine, The State University of New York at Buffalo(UB)を訪問し、学部間学術交流協定締結の調印を行いました。本学歯学部において本協定は米国との初の協定であることから、今後、学生及び研究者の盛んな交流が期待されます。また、UBには眞島いづみ学外研究員(歯学部27期生、日本学術振興会特別研究員PD)が留学中であり、更なる共同研究の発展も見込まれます。



中国・海南省の高校生が来学

2017年11月8日(水)、外務省が推進するJENESYS 2.0*により来日した中国・海南省の高校生27名と引率・通訳4名が来学し、看護福祉学部臨床福祉学科の体験学習に参加しました。当日は、高橋由紀助教による高齢者疑似体験と池森康裕助教によるリフト移動体験の後、志水幸学科長による日本の社会福祉制度の概要に関する講義を受講するなど、約2時間のプログラムに熱心に取り組んでいました。

* JENESYS 2.0...アジア大洋州地域及び北米地域と日本をつなぐ青少年交流事業。日本経済の再生と日本的な価値への国際理解の増進をめざして日本政府主導の下に開始された。参加青少年は帰国後に、SNS等を活用して積極的に日本の魅力について対外発信することが期待されている。

